

The Emergence of a New Variant

- ▶ These are example of the unpredictability of the emergence of SARS-CoV-2 variants, and of their introduction in a given geographical area from abroad.
- ▶ They exemplify the difficulty to control such introduction and subsequent spread.

新たな SARS-CoV-2 変異体の出現に関する論文をご紹介します。

▶ Emergence in Southern France of a new SARS-CoV-2 variant of probably Cameroonian origin harbouring both substitutions N501Y and E484K in the spike protein

フランス南部で発生した、スパイク蛋白質に N501Y と E484K の両置換を持つ、おそらくカメルーン起源と思われる、新型 SARS-CoV-2 亜種について

カメルーンへの旅行から帰国したばかりのワクチン接種済男性の検体について、3つのスパイク遺伝子変異の qPCR を実施したところ、L452R 陰性、E484K 陽性、E484Q 陰性という、非典型的な組み合わせが見られたことを報告しています。同じ地域に住む他の SARS-CoV-2 陽性患者の検体も含めて NGS を実施した結果、新しい変異のパターンを呈したことが示されています。

これらの結果について、ウイルス学的、疫学的、臨床的特徴を推測するのは現時点では時期尚早であるとしながらも、新たな SARS-CoV-2 バリエントの出現や、海外から持ち込まれることは予測不可能であり、また、持ち込まれた後の拡散を抑制することも困難であることを示唆しています。

Colson, Philippe, et al. "Emergence in Southern France of a new SARS-CoV-2 variant of probably Cameroonian origin harbouring both substitutions N501Y and E484K in the spike protein." medRxiv (2021).

(この論文は、22.1.19 現在、まだ査読が完了していないものです。)